

# 荒谷小とこの人 中川イセさん



中川イセさんの母校である荒谷小学校。生まれは干布小学区の上荻野戸ですが、荒谷で育ちました。イセさんの幼少時代は、決して幸せに満ちあふれるものではありませんでした。過労から身体をこわした母親が、自分の死期を悟り、イセさんを荒谷の佐藤こうさんに託したのです。イセさんが2歳の時のことでした。

こうさんにはかわいがってもらったイセさんですが、佐藤家は裕福ではありませんでした。里子として肩身の狭い思いをしながら暮らします。小学校時代からイセさんは負けん気が強く、成績も優秀でした。自分をいじめる男の子とは、取っ組み合いのけんかもしたそうです。

ある年、成績が一番だったにもかかわらず、貧しいという理由から、総代で修了証書もらうことができませんでした。その出来事がイセさんに、一生懸命働きながら勉強し、自らの人生を切り開いていこうと強く決意させるのです。

網走に移っても、平坦な人生ではありませんでしたが、網走市議会議員に女性で初当選するなど、強く明るく生き抜く姿勢は変わらず、様々な分野で活躍されました。

中川イセさんの生き方は、多くの人に感銘を与え、その生涯をまとめた本が出版されたり、映画化されたりしました。

ところが、議員として活躍するようになって、有名になってからも、イセさんは質素な生活を変えませんでした。自分は古い家に暮らしながら、あちこちに寄付をなさっていたようです。母校である荒谷小にも、多大な寄付をしてくださいました。

荒谷小学校の図書室には、「中川文庫」のコーナーがあります。児童のために、これまで961冊の図書を寄贈してくださいました。寄付には、図書だけではなく、教育活動に必要な備品も含まれています。(別表参照)



## イセさんの生き方の原点

イセさんが生前、荒谷小学校を訪問してくださった時、子どもたちにメッセージをくださいました。

**「君たちの元気な顔を見るのが好きだ。君たちが勉強している姿を見るのはもっと好きだ。勉強は、立派な人間、人間らしい人間になるためにするのだから。人間らしい人間とは、ウソをつかない、悪**

いことをしない、勤勉で愛情豊かで、思いやりのある人のことだ。勉強を通して多くのことを学び、何事も「やればできる」精神で、勇気を出して実行すれば、実現は可能だ。いかに学問や知識を身につけても、実行するという勇気がなければ実現しない。「よしっ」と思ったら、学問と知識を最大に使ってやり抜くことだ。そうすれば、限りない未来に向かって大きく羽ばたいていくことができる。・・・(以下略)」

イセさんが、子どもの頃、貧しさから差別されたことに対して反感をもった体験が、その後のイセさんの生き方に大いに影響を与えたといっても過言ではありません。貧しくても苦しくても、一生懸命がんばる人が報われる世の中にしたいと強く誓ったのです。その想いを母校荒谷小学校に注ぎ続け、ふるさと「荒谷」をいつまでも忘れることなく、強く生き続けていったのだと思います。

## イセさんから荒谷小学校への寄贈一覧

篤志事項	
・校章一式	
・卓球台	
・放送機器	
・体育館ステージ用演壇一組	
・体育館掲示用校歌額	
・額入り記念切手（2枚）	
・記念切手300枚	
・中川文庫の書架	
・児童図書	
・図書館用具	
・液晶ビデオプロジェクター	
・「昭和の記録50年」ビデオ32巻	など

## 中川イセ顕彰碑の建立

平成20年10月2日、中川イセさんの偉大な功績を讃えるとともに、多大なるご厚意への感謝の意を込めて、荒谷小学校に顕彰碑が建立されました。

